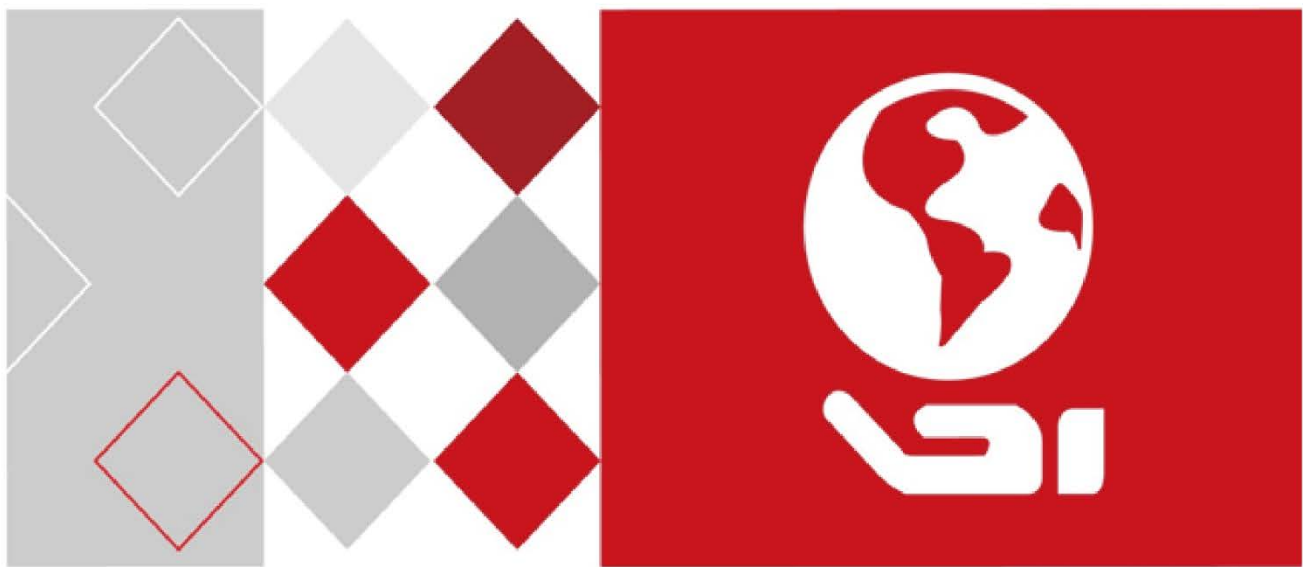


HIKVISION



ネットワークビデオレコーダー
クイックスタートガイド

目次

チャプター 1	パネル概要	6
1.1	フロントパネル	6
1.2	背面パネル	7
チャプター 2	設置と接続	8
2.1	取り付け	8
2.2	ハードディスクの装着	8
2.3	接続	9
2.3.1	アラーム入力の配線	9
2.3.2	アラーム出力の配線	10
2.3.3	アラームの接続	11
2.3.4	コントローラー接続	11
2.4	HDD ストレージ計算表	12
チャプター 3	メニュー操作	13
3.1	デバイスの起動	13
3.2	デバイスをアクティベートする	13
3.3	ロック解除パターンによるログインの設定	15
3.4	システムへのログイン	16
3.5	ウィザードによる簡易基本設定	16
3.6	ネットワーク設定	17
3.7	IP カメラの追加	18
3.8	ライブビューの開始	19
3.9	ワンタッチ RAID 設定	20
3.10	録画設定	21
3.11	再生	22
チャプター 4	顔画像の比較	23
チャプター 5	Web ブラウザによるアクセス	24

クイックスタートガイド

COPYRIGHT ©2017 Hangzhou Hikvision Digital Technology Co., Ltd.

無断複写転載等の禁止。

文章、画像、図表を含むすべての情報は、Hangzhou HIKVISION Digital Technology Co., Ltd. またはその子会社(以下、「Hikvision」とする)の所有するものとします。本ユーザマニュアル(以下、「本マニュアル」とする)は、Hikvision の事前の書面による許可なく、部分的または全体的にかかわらず再生産、変更、翻訳または配布できないものとします。特に規定されていない限り、Hikvision は明示の有無によらず本マニュアルに関しての補償はおこないません。

本マニュアルについて

本マニュアルはネットワークビデオレコーダー（NVR）に適用されます。

本マニュアルには製品の使用および管理についての指示が含まれています。ここに記載されている写真、表、画像およびその他すべての情報は説明のみを目的としています。本マニュアルに含まれる情報は、ファームウェア更新やその他の理由で通知なく変更されることがあります。最新版は企業ウェブサイト（<http://overseas.hikvision.com/en/>）でご確認ください。

専門の技術者の指導の下で本ユーザマニュアルをご利用ください。

商標に関する確認

HIKVISION およびその他 Hikvision の商標およびロゴは、様々な裁判管轄地域においても Hikvision の所有物です。以下に示されたその他の商標およびロゴは、各権利保有者の所有物です。

法的免責事項

適用法により許容される範囲内で、記載の製品とそのハードウェア、ソフトウェアおよびファームウェアは、あらゆる不具合やエラーを含め、そのままの形で提供されるものとし、HIKVISION では明示の有無によらず一切の保証(性能、品質、特定の目的に対する適合性および第三者の権利非侵害を含みますが、これらに限定しない)を行いません。HIKVISION およびその取締役、役員、従業員または代理人は、本製品の利用に関連する事業利益の損失や事業妨害、データや文書の損失に関する損害を含む特別、必然、偶発または間接的な損害に対して、たとえ HIKVISION がそれらについて通知を受けていたとしても、一切の責任を負いません。

インターネットアクセスを伴う製品に関して、当該製品の一切の使用はお客様自身の責任によるものとします。HIKVISION は、異常操作、プライバシー漏えいまたはサイバー攻撃、ハッキング、ウィルス検査やその他のセキュリティリスクから生じるその他の損害に対して一切の責任を負わないものとします。ただし、必要に応じて HIKVISION は適宜技術サポートを提供します。

監視に関する法律は裁判管轄地域によって異なります。本製品のご使用前に、使用地の裁判管轄地域におけるすべての関連法を確認して、必ず適用法に準拠するように利用してください。本製品が不正な目的で使用された場合に、HIKVISION は責任を負わないものとします。

本マニュアルと適用法における矛盾がある場合については、後者が優先されます。

規制情報

FCC 情報

規制順守担当筋より明示的に承認されていない変更または改造を行うと、本装置を操作するユーザの権利が無効になることがあります。

FCC 準拠: 本装置は連邦通信委員会(FCC)規則第 15 条の基準に基づくクラス A デジタル機器です。これらの制限は、商業環境で装置を運用する際に、有害な干渉に対して妥当な保護を提供するように設計されています。この装置は電波を発生または使用し、無線周波数エネルギーを放射する可能性があり、取扱説明書に従って取り付けおよび使用しなかった場合、無線通信に有害な干渉を引き起こすことがあります。住宅地域でこの装置を運用する場合、有害な干渉を引き起こす可能性があり、その場合はユーザー側の負担で干渉に対処する必要があります。

FCC 条件

このデバイスは、FCC ルール Part 15 に準拠しています。運用は以下の 2 つの条件に従うものとしします。

1. このデバイスが有害な干渉を引き起こす可能性がない。
2. このデバイスは、望ましくない操作を引き起こす可能性のある干渉を含んだあらゆる干渉受信を受容しなければならない。

EU 適合宣言



本製品および同梱の周辺機器（適用可能な場合）には「CE」マークが付いており、EMC 指令（2014/30/EU）、LVD 指令（2014/35/EU）、および RoHS 指令（2011/65/EU）に掲げる適用可能な欧州統一基準に準拠します。



2012/19/EU(WEEE 指令):この記号が付いている製品は、欧州連合(EU)の地方自治体の未分別廃棄物として処分できません。適切にリサイクルするために、本製品は同等の新しい装置を購入する際に、お近くの販売業者に返却いただくか、指定された収集場所で処分してください。詳細については次の URL を参照してください。

www.recyclethis.info



2006/66/EC(バッテリー指令):本製品には、欧州連合(EU)の地方自治体の未分別廃棄物として処分できないバッテリーが含まれています。特殊バッテリー情報に関する製品資料をご覧ください。バッテリーにはこの記号が付いており、カドミウム(Cd)、鉛(Pb)、水銀(Hg)を示す文字も記載されています。適切にリサイクルするために、販売業者か、指定された収集場所にご返却ください。詳細については次の URL を参照してください。 www.recyclethis.info

カナダ産業省 ICES-003 準拠

本装置は CAN ICES-3(A)/NMB-3(A)基準要件を満たしています。

該当モデル

本マニュアルは次のテーブルに列挙したモデルに適用されます。

シリーズ	型式
DS-9600NI-I8	iDS-9632NXI-I8/4F

記号の定義

本書で使用されている記号は以下のように定義されます。

記号	説明
 注記	本文中の重要点を強調したりそれを補う追加情報を提供します。
 警告	潜在的に危険となりうる状況を表しており、防止できなかった場合、機器の損傷、データの消失、性能劣化など、予測不能な結果が生じる可能性があります。
 危険	高いリスクを伴う危険性を示すもので、防止できなかった場合、死亡したり重傷を負う可能性があります。

安全上の指示

- すべてのパスワードやその他のセキュリティの適切な設定は、設置者および/またはエンドユーザーの責任です。
- 製品の使用にあたって、国や地域の電気の安全性に関する法令に厳密にしたがう必要があります。詳細情報に関しては技術仕様を参照してください。
- 入力電圧は、IEC60950-1 基準に従い、SELV(安全超低電圧)および 100～240VAC または 12VDC の有限電源を満たす必要があります。詳細情報に関しては技術仕様を参照してください。
- アダプターの過負荷によりオーバーヒートや火災の危険性があるため、1つの電源アダプターに複数のデバイスを接続しないでください。
- プラグがしっかりと電源ソケットに接続されていることを確認してください。
- デバイスから煙や臭い、騒音が発生した場合、すぐに電源を切り、電源ケーブルを抜いて、サービスセンターにご連絡ください。

予防および注意に関するヒント

デバイスを接続して操作する前に、以下のヒントをご確認ください。

- ユニットが風通しのよい、ほこりのない環境に設置されていることをご確認ください。
- ユニットは屋内専用に設計されています。
- 液体の近くで本機を使用しないでください。
- 環境条件が工場仕様を満たしていることをご確認ください。
- ユニットがラックや棚に適切に固定されていることをご確認ください。落下によるユニットへの主な衝撃や振動は、内部の繊細な電子機器に損害を与える可能性があります。
- できれば無停電電源装置（UPS）と併用してください。
- ユニットの電源を切ってから、周辺機器の接続や切断を行ってください。
- 工場推奨の HDD を本デバイスに使用してください。
- バッテリーの不適切な使用や交換を行うと、爆発の危険性があります。同一または同等のタイプのものとだけ交換してください。バッテリーのメーカーによって提供された指示にしたがって、使用済みバッテリーを処分してください。

CHAPTER 1 パネル概要

1.1 フロントパネル

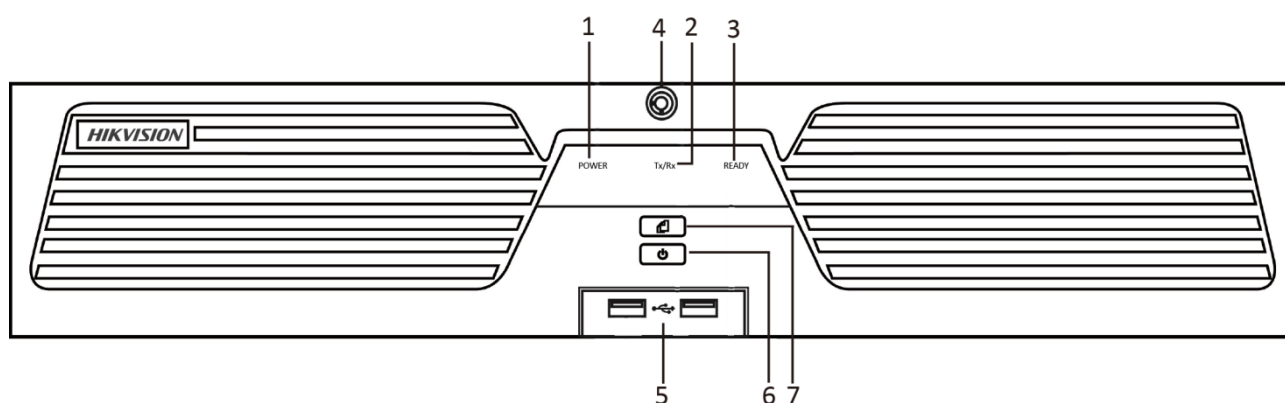


図 1-1 iDS-9632NXI-I8/4F シリーズ

表 1-1 パネル概要

番号	名前	機能説明
1	電源	電源が接続されていてシステムが動作中でない場合は赤く光ります。電源が接続されていてシステムが動作中である場合は青く光ります。
2	Tx/Rx	ネットワーク接続が正常に機能していると、青色に点滅します。
3	準備完了	デバイスが正常動作している場合には青くなります。
4	フロントパネルロック	鍵でパネルの施錠と解錠をします。
5	USB インターフェイス	USB マウスや USB ハードディスクドライブ（HDD）のような追加デバイス用のユニバーサルシリアルバス（USB）ポート。
6	電源 ON/OFF	ボタンを 3 秒以上長押しすることで NVR の電源オン/オフができます。
7	バックアップ	ビデオファイルをバックアップします。

1.2 背面パネル

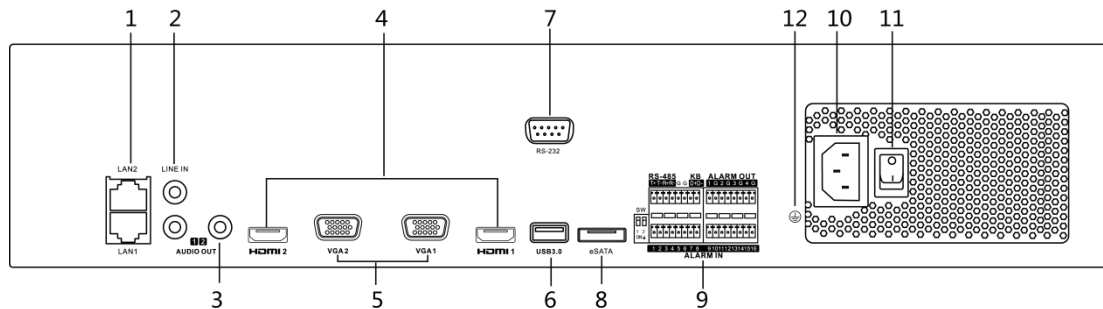


図 1-2 iDS-9632NXI-I8/4F シリーズ

表 1-2 パネル概要

番号	名前	説明
1	LAN1/LAN2 インターフェイス	2 個の RJ-45 10/100/1000Mbps 自動認識型イーサネットインターフェイスを搭載。
2	ライン入力	音声入力用 RCA コネクタ。
3	音声出力	オーディオ出力用の RCA コネクタ 2 個
4	HDMI1/HDMI2	HDMI ビデオ出力コネクタ。
5	VGA1/VGA2	VGA 出力用 DB9 コネクタ。ディスプレイローカルビデオ出力とメニュー。
6	USB 3.0 インターフェイス	USB マウスや USB ハードディスクドライブ (HDD) のような追加デバイス用のユニバーサルシリアルバス (USB) ポート。
7	RS-232 インターフェイス	RS-232 デバイス用コネクタ。
8	eSATA	外部 SATA HDD、CD/DVD-RM を接続します。
9	コントローラーポート	D+、D-ピンをコントローラーの Ta、Tb ピンに接続します。カスケードデバイスでは、最初の NVR の D+、D-ピンを次の NVR の D+、D-ピンに接続する必要があります。
	アラーム入力	アラーム入力用コネクタ。
	アラーム出力	アラーム出力用コネクタ。
10	100~240VAC	100~240VAC 電源。
11	電源スイッチ	デバイスを on/off するスイッチ。
12	アース	アース接続 (NVR 起動時に接続している必要があります)。

チャプター 2 設置と接続

2.1 取り付け

NVR の設置に際して:

- ラック取付にはブラケットを使用します。
- オーディオ及びビデオケーブルに十分なスペースを確保してください。
- 配線時に、ケーブルの曲げ半径が線径の 5 倍未満にならないようにします。
- アラームケーブルを接続します。
- ラック取付デバイスの間隔は最低 2cm(≈0.75 インチ)空けるようにしてください。
- NVR がアース接続されていることを確認します。
- 環境温度は-10℃ から +55℃ の間でなければなりません。
- 環境湿度は 10～90%の範囲でなければなりません。。

2.2 ハードディスクの装着

始める前に:

NVR の電源を切断してから、ハードディスクドライブ(HDD)を装着してください。この設置手順では工場推奨 HDD を使用してください。

必要な工具: ドライバー

ステップ 1: ハードディスク取付ハンドルをハードディスクにネジで固定します。



図 2-1 ハードディスクの固定

ステップ 2: 鍵を差し込み、時計回りにまわしてパネルロックを開きます。

ステップ 3: 両側面のボタンを押して、フロントパネルを開きます。



図 2-2 フロントパネルの開放

ステップ 4: ハードディスクをスロットに挿入して定位置に収めます。



図 2-3 HDD のスロット挿入

ステップ 5: 上記の手順を繰り返して NVR に他のハードディスクを設置します。

ステップ 6: すべてのハードディスクの設置が完了したら、フロントパネルを閉じて、再度施錠します。

2.3 接続

2.3.1 アラーム入力の配線

アラーム入力はオープン/クローズリレーです。デバイスにアラーム入力を接続するには、以下の図を使用してください。

注記

アラーム入力オープン/クローズリレーではない場合、アラーム入力とデバイスの外部リレーを接続してください。

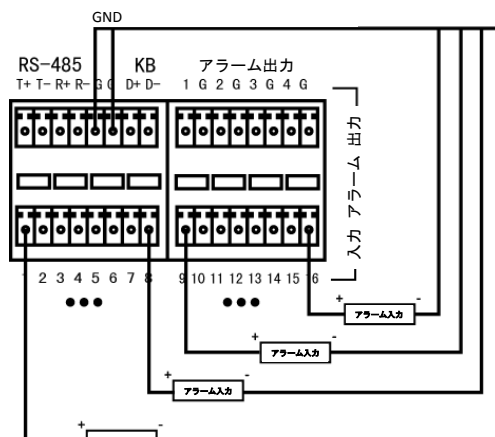


図 2-4 アラーム入力の配線

2.3.2 アラーム出力の配線

アラーム出力(AC または DC 負荷)に接続するには、以下の図を使用してください:

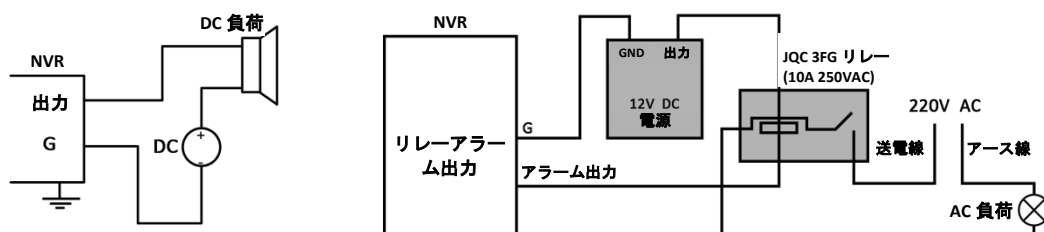


図 2-5 アラーム出力の配線

DC 負荷では、12V/1A 以内でジャンパーを安全に使用できます。

AC 負荷接続には、ジャンパーを開いたままにする必要があります(NVR のマザーボードでジャンパーを取り外す必要があります)。安全のために外部リレーを使用してください(上の図表の通り)。

マザーボードには 4 つのジャンパー(JP6、JP9、JP10、JP11)があり、それぞれ 1 つのアラーム出力に対応しています。デフォルトでは、ジャンパーが接続されています。AC 負荷接続には、ジャンパーを取り外す必要があります。

例:

NVR の出力 3 を AC 負荷に接続する場合、JP3 ジャンパーを取り外す必要があります。

2.3.3 アラームの接続

アラームデバイスを NVR に接続する方法:

ステップ 1: アラーム入力/アラーム出力端子台からプラグ式ブロックを切断します。

ステップ 2: プラグ式ブロックから止めネジを緩めて、信号ケーブルをスロットに差し込み、止めネジを締めます。信号ケーブルがしっかりと装着されていることを確認してください。

ステップ 3: 端子台にプラグ式ブロックを差し込みます。

2.3.4 コントローラー接続

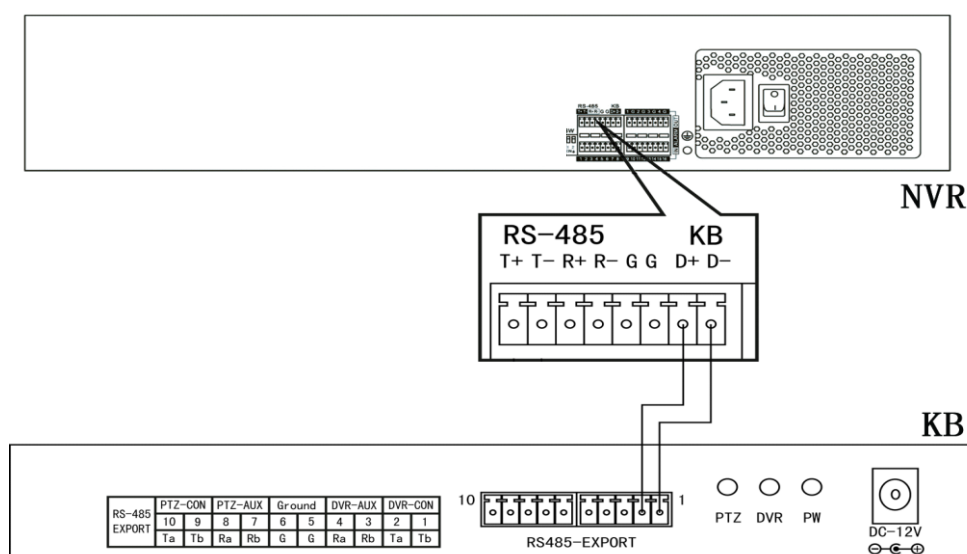


図 2-6 コントローラ接続

コントローラーを NVR に接続するには:

ステップ 1: KB 端子台から接続可能なブロックを切断します。

ステップ 2: KB D+、D-のプラグ式ブロックから止めネジを緩めて、信号ケーブルをスロットに差し込み、止めネジを締めます。信号ケーブルが固定されていることを確認します。

ステップ 3: コントローラーの Ta を端子台の D+に、コントローラーの Tb を端子台の D-に接続します。止めネジを締めます。

ステップ 4: 端子台にプラグ式ブロックを差し込みます。



注記

コントローラーと NVR 両方がアース接続されていることをご確認ください。

2.4 HDD ストレージ計算表

以下の表は、固定ビットレートで 1 時間 1 チャンネルで使用される推定ストレージ容量を示しています。

ビットレート	使用ストレージ
96K	42M
128K	56M
160K	70M
192K	84M
224K	98M
256K	112M
320K	140M
384K	168M
448K	196M
512K	225M
640K	281M
768K	337M
896K	393M
1024K	450M
1280K	562M
1536K	675M
1792K	787M
2048K	900M
4096K	1.8G
8192K	3.6G
16384K	7.2G



注記

使用ストレージ容量の値は参考にとどめておいてください。表内のストレージの値は計算式によって推定されており、実測値から逸脱するものがある場合があります。

CHAPTER 3 メニュー操作

3.1 デバイスの起動

適切な起動とシャットダウンの手順が、NVR の寿命を延ばすためには重要です。

デバイスを起動するには:

ステップ 1: 電源がコンセントに差し込まれていることを確認します。無停電電源装置 (UPS) をデバイスとの接続に使用することを強く推奨します。フロントパネルの電源ボタンが赤色で点灯します。これは本機に電源が供給されていることを示しています。

ステップ 2: フロントパネルの電源ボタンを押します。電源 LED が青色に変化します。ユニットが起動し始めます。

本機が起動したら、ウィザードによって、パスワードの変更、日付と時刻の設定、ネットワークの設定、HDD の初期化、録画など、初期設定の方法が指示されます。

3.2 デバイスをアクティベートする

初回アクセスでは、管理者パスワードを設定してデバイスをアクティベートする必要があります。アクティベートするまでは、どの操作も不可となります。本機は、インターネットブラウザ、SADP、クライアントソフトウェアでも起動できます。

ステップ 1: **新パスワードの作成と新パスワードの確認**のテキストフィールドに同じパスワードを入力します。



注記



をクリックすると入力した文字を表示できます。



図 3-1 管理者パスワードの設定

警告

製品のセキュリティを高めるため、ご自分で選択した強力なパスワード(大文字、小文字、数字、特殊記号のうち、少なくとも3つのカテゴリで構成された文字を8文字以上含むパスワード)を設定するよう強くお勧めします。また、定期的にパスワードを再設定し、特に高いセキュリティ システムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より安全に製品を保護できます。

ステップ 2: **OK** をクリックしてパスワードを保存し、デバイスをアクティベートします。

ステップ 3: デバイスをアクティベートすると、パスワードを適切に保つことを推奨するメッセージボックスがポップアップ表示されます。**[OK]**をクリックすると、将来のパスワードがリセットできるよう GUID ファイルをエクスポートすることができます。



図 3-2 パスワードを適切に保管するための注意

注記

管理者パスワードが変更された場合には、次のメニューが表示されます。オプションとして、**[はい]**をクリックすると、デフォルトプロトコルで接続された IP カメラにパスワードを複製します。

3.3 ロック解除パターンによるログインの設定

管理者ユーザは、デバイスのログインのためのロック解除パターンを設定することができます。

ステップ 1: デバイスをアクティベートすると、下記のインターフェイスが開き、デバイスのアンロックパターンを設定することができます。

ステップ 2: マウスを使って画面上の9つのドットをつないでパターンを描いてください。マウスをリリースすると、パターン指定が完了します。

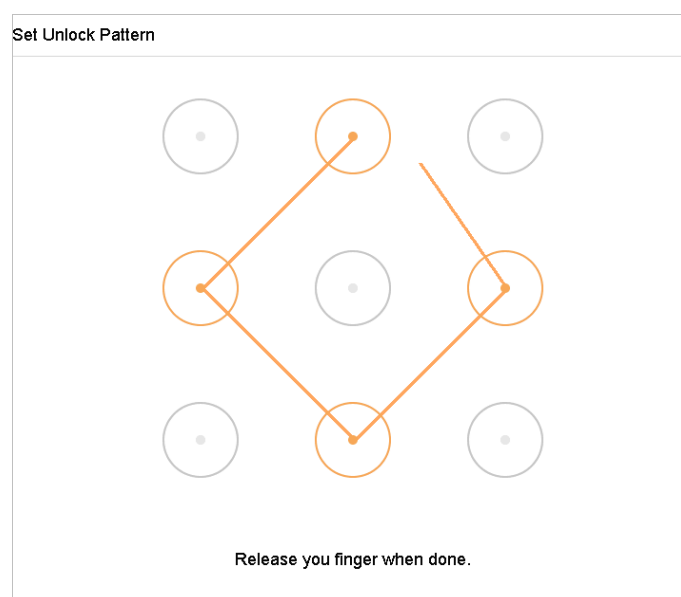


図 3-3 パターンの指定

注記

- パターンを描く際は、少なくとも4つのドットをつないでください。
- それぞれのドットは一度だけつなぐことができます。

ステップ 3: 同じパターンを再度描いて、確定します。2つのパターンが一致した場合、パターンの設定は完了です。

注記

もし2つのパターンが一致しない場合、パターン設定をやり直す必要があります。

3.4 システムへのログイン

目的:

デバイスをログアウトした場合、メニューやその他の機能进行操作する前にログインする必要があります。ロック解除パターンまたはパスワード入力を選択してログインすることができます。

ステップ 1: 画面上で右クリックし、メニューを選択してインターフェイスに進みます。

ステップ 2: ドロップダウンリストでユーザ名を選択します。

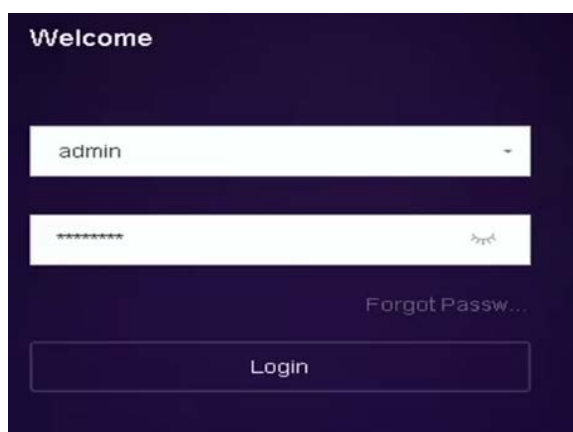


図 3-4 ログインインターフェイス

ステップ 3: パスワードを入力します。

ステップ 4: [ログイン]をクリックしてログインします。



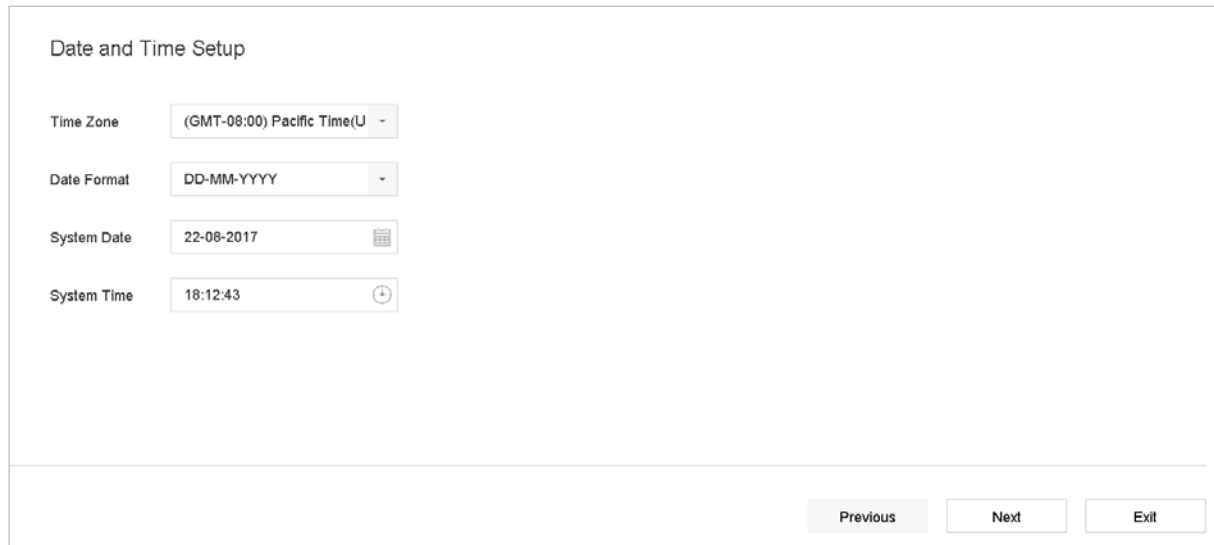
注記

ログインダイアログボックスに間違ったパスワードを 7 回入力すると、現在のユーザーアカウントが 60 秒間ロックされます。

3.5 ウィザードによる簡易基本設定

セットアップウィザードを使用して本機の重要な設定を行なうことができます。デフォルトでは、本機がロードされるとセットアップウィザードが起動されます。

本機が起動したらチェックボックスにマークを入れてセットアップウィザードを有効にします。次へをクリックし、セットアップウィザードを続行します。セットアップウィザードの指示に従ってシステム解像度、システムの日付/時刻、ネットワークの設定、HDD の管理、録画の設定などを設定します。



The image shows a 'Date and Time Setup' wizard interface. It contains four rows of configuration fields: 'Time Zone' with a dropdown menu showing '(GMT-08:00) Pacific Time(U)', 'Date Format' with a dropdown menu showing 'DD-MM-YYYY', 'System Date' with a text field showing '22-08-2017' and a calendar icon, and 'System Time' with a text field showing '18:12:43' and a clock icon. At the bottom right, there are three buttons: 'Previous', 'Next', and 'Exit'.

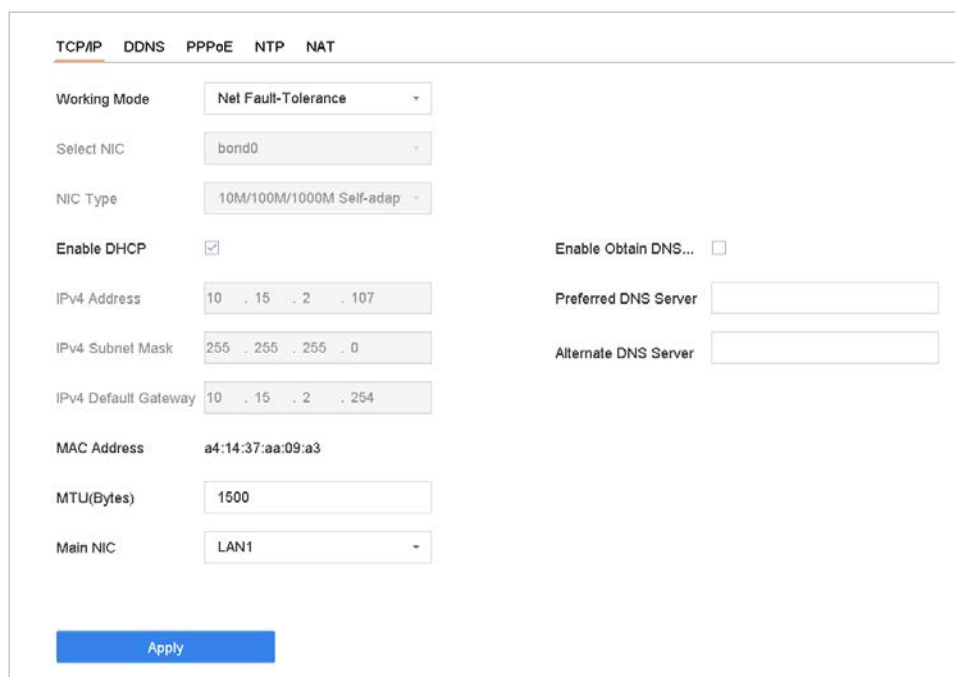
図 3-5 ウィザード

3.6 ネットワーク設定

目的:

デバイスをネットワーク経由で使用する前にネットワーク設定を適切に設定する必要があります。

ステップ 1: [システム]>[ネットワーク]>[TCP/IP] に移動します。



The image shows the 'TCP/IP' configuration tab in a network settings menu. The tabs at the top are 'TCP/IP', 'DDNS', 'PPPoE', 'NTP', and 'NAT'. The configuration fields include: 'Working Mode' (dropdown: 'Net Fault-Tolerance'), 'Select NIC' (dropdown: 'bond0'), 'NIC Type' (dropdown: '10M/100M/1000M Self-adap'), 'Enable DHCP' (checkbox: checked), 'Enable Obtain DNS...' (checkbox: unchecked), 'IPv4 Address' (text field: '10 . 15 . 2 . 107'), 'Preferred DNS Server' (text field), 'IPv4 Subnet Mask' (text field: '255 . 255 . 255 . 0'), 'Alternate DNS Server' (text field), 'IPv4 Default Gateway' (text field: '10 . 15 . 2 . 254'), 'MAC Address' (text field: 'a4:14:37:aa:09:a3'), 'MTU(Bytes)' (text field: '1500'), and 'Main NIC' (dropdown: 'LAN1'). An 'Apply' button is located at the bottom left.

図 3-6 ネットワーク設定

ステップ 2: 一般タブを選択します。

ステップ 3: 一般設定インターフェイスで、次の設定が行えます。NIC タイプ、IPv4 アドレス、IPv4 ゲートウェイ、MTU、DNS サーバー。

ステップ 4: DHCP サーバーを使用できる場合、DHCP のチェックボックスを選択して、そのサーバーから IP アドレスとその他のネットワーク設定を自動取得できます。

ステップ 5: 一般設定が完了したら適用ボタンをクリックして設定を保存します。

3.7 IP カメラの追加

目的:

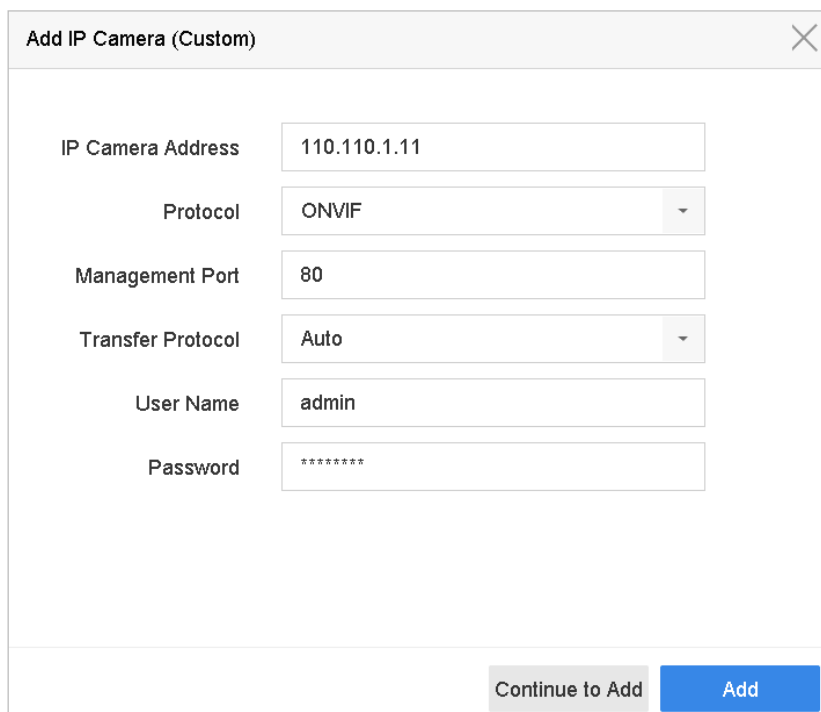
ライブビデオを取得したりビデオファイルを録画するには、本機の接続リストにネットワークカメラを追加する必要があります。

始める前に:

ネットワーク接続が有効で正しく、追加する IP カメラをすでにアクティベートしていることをご確認ください。

ステップ 1: メインメニューバー上の  をクリックしてカメラ管理を開きます。

ステップ 2: タイトルバーの[カスタム追加] タブをクリックして、IP カメラ追加インターフェイスを開きます。



Add IP Camera (Custom) ✕	
IP Camera Address	110.110.1.11
Protocol	ONVIF
Management Port	80
Transfer Protocol	Auto
User Name	admin
Password	*****
Continue to Add Add	

図 3-7 IP カメラの追加

ステップ 3: 追加する IP カメラの IP アドレス、プロトコル、管理ポートなどの情報を入力してください。

ステップ 4: IP カメラのログインユーザ名とパスワードを入力します。

ステップ 5: **[追加]**をクリックすると IP カメラの追加が完了します。

ステップ 6: (オプション) **[追加を継続]**をクリックして他の IP カメラを追加し続けることもできます。

3.8 ライブビューの開始

ステップ 1: システムが起動すると自動的にライブビューインターフェイスが開きます。メ

インメニューバー上で  をクリックしてもライブビューインターフェイスを開くことができます。

ステップ 2: ライブビュー用のウィンドウをクリックして選択します。

ステップ 3: 左側のリストで IP カメラをダブルクリックし、ライブビデオの再生を開始します。



図 3-8 ライブビュー

ウィンドウの下部にあるツールバーを使って、キャプチャ、インスタント再生、音声のオン/オフ、デジタルズーム、ライブビューストラテジー、情報表示および録画の開始/停止などを行うことができます。

3.9 ワンタッチ RAID 設定

目的:

このデバイスは RAID ストレージ機能をサポートしています。ワンタッチ設定で、素早くディスクアレイを作成できます。デフォルトでは、作成するアレイタイプは RAID 5 です。

始める前に:

- RAID 機能を有効化します。
- 少なくとも 3 台の HDD をインストールしてください。10 台以上 HDD がインストールされている場合、2 つのアレイが作成されます。HDD の信頼性と安定した動作を維持するために、同じモデルと容量を持ったエンタープライズレベルの HDD を利用することを推奨します。

ステップ 1: [ストレージ] > [RAID 設定] > [物理ディスク] に移動します。

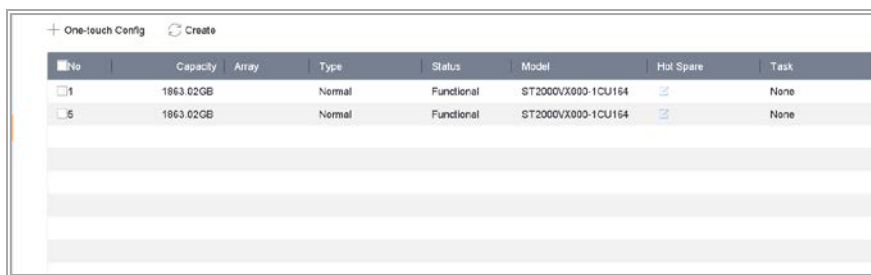


図 3-9 物理ディスク

ステップ 2: [ワンタッチ設定] をクリックします。

ステップ 3: [アレイ名] テキストフィールドでアレイの名前を編集し、[OK] をクリックしてアレイ構成を開始します。

注記

4 台以上の HDD をインストールしている場合、アレイ再構成のためのホットスペアディスクが作成されます。

ステップ 4: アレイ作成が完了するとメッセージボックスがポップアップしますので、[OK] をクリックしてください。

ステップ 5: 必要に応じて、デバイスが作成されたアレイを自動的に初期化します。[ストレージ] > [RAID 設定] > [アレイ] から、作成されたアレイの情報が表示できます。

3.10 録画設定

始める前に:

ディスクがすでにインストールされているか追加されていることを確認してください。そうでない場合、HDD をインストールまたは追加して初期化してください。詳細についてはユーザーマニュアルを参照してください。

オプション 1:

ライブビューモードでは、接続されたカメラのウィンドウを選択して、ツールバーの  をクリックすると録画を開始できます。

オプション 2:

ステップ 1: [ストレージ]>[録画スケジュール] に移動します。

ステップ 2: カメラを選択してください。

ステップ 3: [スケジュールを有効化]をチェックしてください。

ステップ 4: [録画種別] を選択します。録画種別は、連続、動体検知、アラーム、動体検知 | アラーム、動体検知 & アラーム、イベントなどに設定できます。

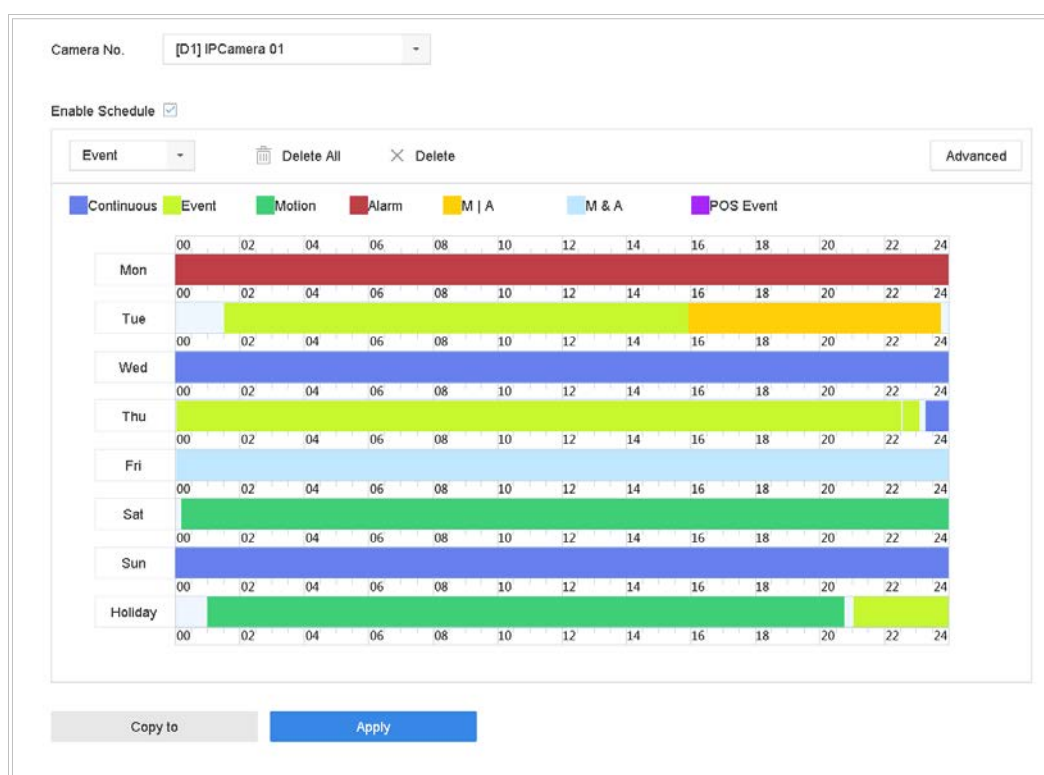


図 3-10 録画スケジュール

ステップ 5: 日を選択し、時間バーの上でクリックアンドドラッグし、録画スケジュールを設定します。

ステップ 6: [適用]をクリックして設定を保存します。

3.11 再生

ハードディスク上に録画されたビデオファイルは、インスタント再生、特定チャンネルの終日再生、または、ノーマル/重要/カスタム/イベント/スマート/タグ/サブ時間枠/外部ファイル検索による再生の各モードで再生できます。



ステップ 1: メインメニューバーの をクリックして再生インターフェイスを開きます。

ステップ 2: リストでチャンネルのチェックボックスを選択してから、カレンダーの日付をダブルクリックで選択します。

ステップ 3: 再生インターフェイスの一番下にあるツールバーで再生の進め方を制御することができます。



図 3-11 再生インターフェイス

ステップ 4: チャンネルを選択して複数チャンネルの同時再生を実行します。

CHAPTER 4 顔画像の比較

このデバイスは顔画像の比較によるアラームと、接続されたカメラでの顔認識機能に基づいた顔キャプチャに対応しています。

ステップ 1: [スマート解析]>[顔画像データベース] に移動します。

ステップ 2: アップロードされた顔の画像を使って、デバイスに顔画像ライブラリを追加します。

ステップ 3: [システム]>[イベント]>[スマートイベント]>[顔画像の比較] に移動し、デバイスに接続されたカメラで顔画像比較を設定します。

ステップ 4: [スマート分析]>[スマート検索]>[顔検索] に移動し、顔画像を検索します。

チャプター 5 Web ブラウザによるアクセス



注記

インターネットアクセスを通じて製品を使用した場合、ネットワーク上のセキュリティリスクがあることを承諾したものと見なされます。ネットワーク攻撃や情報漏えいを回避するには、ご自身の保護対策を強化してください。製品が正常に動作しない場合、販売店やお近くのサービス センターにご連絡ください。

目的:

ウェブブラウザ経由でデバイスにアクセスできます。次のウェブブラウザが使用可能です: Internet Explorer 6.0~11.0、Apple Safari、Mozilla Firefox および Google Chrome。対応解像度は 1024×768 以上です。

ステップ 1: ウェブブラウザを開き、デバイスの IP アドレスを入力してから Enter を押します。

ステップ 2: デバイスにログインします。

- デバイスがアクティベートされていない場合、ログインする前にまずアクティベートする必要があります。

図 5-1 管理者パスワードの設定

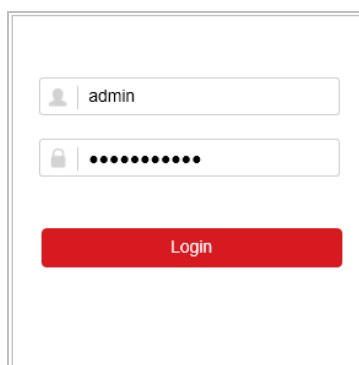
- 1) 管理者ユーザーアカウントのパスワードを設定します。
- 2) OK をクリックしてデバイスにログインします。



警告

強力なパスワード推奨 – 製品のセキュリティ向上のために、ご自身で選択した強力なパスワード (最低 8 文字を使用し、大文字、小文字、数字および特殊記号を含む) を作成することを強く推奨します。また、定期的にパスワードを再設定し、特に高いセキュリティ システムでは、毎月または毎週パスワードを再設定すると、より安全に製品を保護できます。

- デバイスがすでにアクティベートされている場合、ログインインターフェイスでユーザー名とパスワードを入力し、ログインボタンをクリックします。



The image shows a login form with two input fields and a button. The first field is for the username, with the text 'admin' entered. The second field is for the password, with masked characters '.....' shown. Below the fields is a red button labeled 'Login'.

図 5-2 ログイン

ステップ 3: ライブビデオの表示やカメラの管理を行う前にプラグインをインストールします。インストールの指示に従い、プラグインをインストールします。

注記

プラグインのインストールを完了するために Web ブラウザを閉じなければならない場合があります。

ログイン後に、ライブビュー、再生、ログ検索、設定など、本機の操作や設定を実行することができます。



First Choice for Security Professionals

UD07433B

www.hikvision.com